

令和 8 年度 浦添市上下水道料金等審議会(第 3 回) 議事要旨

場 所	浦添市上下水道庁舎 3 階会議室			
日 時	令和 8 年 8 月 20 日（木） 14：00 ～ 15：25			
提示資料	会次第、パブリックコメントのご意見及び回答 ほか			
出 席 者（出席数 5 人、欠席数 1 人）				
委 員	平敷 徹男（会長）	○	照屋 冴子	○
	秋田 繁一（副会長）	○	平良 秀樹	×
	又吉 隆	○	譜久原 みどり	○
事 務 局	上下水道部長、経営企画課長、営業課長、工務課長、工務課技幹、 経営企画課職員			

議 事
1. パブリックコメントの結果報告 2. 料金算定の考え方について 3. 料金改定について

【議事に対する質疑応答及び意見の概要】

[事務局] 議事の説明 1. パブリックコメントの結果報告
[委員] パブリックコメントの回答は市のホームページに公表するのか。
[事務局] はい。
[委員] 「リンク」とあるが、これはリンクが貼られていてそれをクリックすると画面が飛ぶということか。
[事務局] はい。
[委員] 「データ」ともあるがそれはまた異なるのか。
[事務局] データはPDF が貼られていてそれを開く形になる。
[委員] 意見を出された方はホームページだけではなく、SNS 等の話もしているが、その対応は検討しているか。
[事務局] 資料2の3頁に記載のように、前回の料金改定の際は広報うらそえやSNS 発信、本庁1階のデジタルサイネージ掲載や公式アプリ「てだっち」などで周知した。今回、改定となった場合も広く周知が行えるようにしていきたい。
[委員] 資料2の1頁の水道料金の使途の所で「漏水対策費」との記載があるが、回答案の費用内訳と一致しないのではないかと思う。回答の際に漏水の対応についてどの費用内訳で表現するのか。また、漏水は起きてから対応する印象があるが、AI 探査のように未然に防ぐといったことはしているのか。
[事務局] 本市ではまだ AI 探査を活用したものについては取り組んでいない。また、漏水に対応するための調査などの費用は委託料となっている。回答の際の表現の仕方については事務局側で調整する。
[委員] 「水道管更新費」とあるが、これは維持管理費の方に入るのか。
[事務局] 更新は4条予算で行っている。回答案の費用内訳は3条予算のものになっている。
[事務局] 今回、事務局側は下水道事業についてのパブリックコメントをお願いしていたが、頂いたご意見は水道事業の内容になっていた。そのため、回答として水道事業と下水道事業の両方を載せる形にしているがそれでよろしいか。

[委員]	はい。両方載せた方が各事業に対する理解をしてもらえるのではないかと思います。
[委員]	資料2の2頁2番にある税金の投入について、下水道事業の分の割合をパーセンテージで表すことはできるか。
[事務局]	下水道事業の全収益の内、一般会計から頂いている金額の割合は出せるが、財源となっている税金の内訳の把握までは難しい。
[会長]	今回、市民の方々が気にしていることがかなり網羅されたご意見が届いており、市民への情報提供の仕方として望ましいものだと感じた。上下水道事業にご理解頂くために、資料2の回答案で進めてよろしいか。
(委員賛同の声)	

[事務局]	議事の説明 2. 料金算定の考え方について 3. 料金改定について
[委員]	資料3の4頁に「人口が令和14年度以降減少傾向になること及び今後も施設の拡張事業が継続していく見通し」とある。これは、人口は減っていくが新規の施設が増えていくということか。老朽化に伴う更新事業ならまだ理解できるが、拡張事業の中に単なる更新ではなく「新規」と付くものはあるのか。
[事務局]	区画整理事業がまだ動いている地域がありまして、その部分が「新規」で布設されている。
[事務局]	水道事業については拡張事業を進めており、下水道事業もそれに付随して進めていこうとしている。このような拡張事業がなければ料金体系を今の用途別から口径別に変えていく流れになる。まだ拡張事業は残っているので、今の料金体系を継続していきたいと考えている。
[委員]	各市で料金体系に違いがあるがなぜか。市民にとってどちらがいいというの はあるのか。
[事務局]	用途別にしている理由は、家事用を低減しようという考えからそのような料

	金体系を取っている。
[委員]	資料 4 に改定率 2%～4%のシミュレーションが載っているが、23 頁に 3%を推奨したいとある。それはなぜか。
[事務局]	資料 3 の 6 頁に改定率 3.20%とあるが、これは令和 7～11 年度までの年不足額を補うためにどのぐらい収入を上げたらいいかという割合である。資産維持費から 3.20%という数字を出しているので、事務局側でも 3%の改定で進めたいと考えている。
[委員]	今回の改定後にまた改定する予定か。
[事務局]	令和 12 年度にも改定の予定だが、今で不足額を補わなければ更に大きな率の改定が必要になることが想定される。
[委員]	今回の料金改定はいつになるのか。
[事務局]	令和9年4月を予定している。
[会長]	事務局の提案どおり、料金の改定率は 3%の案で進めてよろしいか。
(委員賛同の声)	

以上